


事業番号	150701	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b> □当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	生徒指導推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	心の支援課
		実施期間	S58 ～	E-mail	kokoro@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり			
	4-4 生命・生活リスクの軽減	5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり			

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> ・いじめ・不登校などの未然防止、早期発見、早期対応のための支援体制の充実 ・不登校児童生徒の学びを保障する仕組みの構築 ・いじめや不登校などの悩みについて子どもや保護者等が安心して相談できる、相談体制の充実 ・性被害防止に関する指導・情報モラル教育による、子どもたちの「危険を察知し回避する力」の育成  <b>【これまでの取組】</b> ・スクールカウンセラーによる心理面の支援 ・スクールソーシャルワーカーによる福祉面の支援 ・不登校児童生徒の実態把握 ・子どもの自殺予防のためのワークショップ等の実施 ・24時間相談電話やLINEによる相談対応など				
	令和2年度点検結果 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童生徒の実態を把握し、ニーズに合った支援を行う必要がある。</li> <li>不登校の増加や長期化に対応するため、スクールカウンセラーによる予防的取り組みや、スクールソーシャルワーカーによる市町村の福祉部局との連携が必要。</li> <li>自殺をはじめ、子どもたちの様々な悩みに対応できる相談体制の構築や周囲の大人たちが子どものSOSに気づく感度の向上が必要。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童生徒が、教室以外でも学習できる仕組みの構築。学校、行政、民間の支援団体等が継続的に話し合いを行う場の設定。</li> <li>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充し、予防的取り組みや市町村福祉部局と連携した支援を実施。</li> <li>LINE相談は年間を通じて継続的に実施。また、自殺予防のためのワークショップを引き続き実施し大人が子どものSOSに気づく感度の向上を図る。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童生徒の実態を把握し、ニーズに合った支援を行う必要がある。</li> <li>不登校の増加や長期化に対応するため、スクールカウンセラーによる予防的取り組みや、スクールソーシャルワーカーによる市町村の福祉部局との連携が必要。</li> <li>自殺をはじめ、子どもたちの様々な悩みに対応できる相談体制の構築や周囲の大人たちが子どものSOSに気づく感度の向上が必要。</li> </ul>
課 題	今後の方向性				
<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童生徒の実態を把握し、ニーズに合った支援を行う必要がある。</li> <li>不登校の増加や長期化に対応するため、スクールカウンセラーによる予防的取り組みや、スクールソーシャルワーカーによる市町村の福祉部局との連携が必要。</li> <li>自殺をはじめ、子どもたちの様々な悩みに対応できる相談体制の構築や周囲の大人たちが子どものSOSに気づく感度の向上が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童生徒が、教室以外でも学習できる仕組みの構築。学校、行政、民間の支援団体等が継続的に話し合いを行う場の設定。</li> <li>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充し、予防的取り組みや市町村福祉部局と連携した支援を実施。</li> <li>LINE相談は年間を通じて継続的に実施。また、自殺予防のためのワークショップを引き続き実施し大人が子どものSOSに気づく感度の向上を図る。</li> </ul>				

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓不登校児童生徒への学びの継続について支援を検討           <ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童生徒が、教室以外でも学習できる仕組みの検討</li> <li>教育支援センターの機能拡充を実施（4市町村）</li> </ul> </li> <li>✓スクールカウンセラーによる予防的・早期発見の取組を実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>全小学4年生に対し、学年会への出席や全員面接を実施</li> <li>スクリーニング会議による支援が必要な児童生徒発見の取組</li> </ul> </li> <li>✓スクールソーシャルワーカーによる児童生徒を取り巻く環境等の改善に向けた総合的支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>市教育委員会への派遣により地域の福祉部局と連携した支援体制を構築</li> </ul> </li> <li>✓LINEによる相談体制の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じて相談できる体制の構築</li> </ul> </li> </ul>	 <p>LINE相談画面イメージ</p>
------------------	--	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						事業コスト	R1年度	R2年度	R3年度
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値				
1	SSWを介した学校と地域関係機関との連携ケース(件)	1,818	2,113	↑	2,100	前年度繰越			要求 392,030 予算案 385,795
2	SSWの介入により一定の改善が図られたケース(件)	1,134	1,292	↑	1,300	当初予算	339,115	362,114	
3						補正予算	6,205	△464	
4						合計(A)	345,320	361,650	要求 392,030 予算案 385,795
5						うち一般財源	111,435	238,039	要求 258,661 予算案 254,504
						決算額(B)	334,712		
						職員数(人)	13.0	13.0	
成果指標設定理由	1、2 いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題に対して、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるSSWが介入し、総合的な支援を実施することにより児童生徒を取り巻く環境等の改善を目指すため、成果目標に設定。								
予算要求からの主な変更点	過去の執行状況を考慮し、生徒指導推進事業及び学校生活相談体制充実事業の経費を減額								

事業名	生徒指導推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	心の支援課
-----	-----------	----	----------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
1	生徒指導推進事業費	317,818 千円	343,048 千円	要求 予算案	368,113 364,385 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	いじめ・不登校等総合対策	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ問題対策連絡協議会 2回</li> <li>学校支援チーム連絡会議</li> <li>不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業 教育支援センターの機能拡充（4市町村で実施） 有識者・関係者等が不登校に係る課題を協議（年6回）</li> </ul>		
2	子どもの自殺対策の推進	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生を対象としたコミュニケーション能力向上研修等 20回</li> <li>教員研修会 2回（全ての中学校・県立高校の教員が参加）</li> <li>高校生・教職員・保護者を対象とした相談力向上研修 24校</li> </ul>		
3	スクールカウンセラーによる心の支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての公立小・中学校へ配置、県立高校及び特別支援学校へ派遣</li> <li>長期欠席している児童生徒への訪問支援</li> <li>緊急派遣（災害対応等）の実施</li> </ul>		
4	スクールソーシャルワーカーによる福祉的支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育事務所に配置するとともに市教育委員会に派遣し、児童生徒の問題の背景にある家庭的な問題の改善に向けた支援を実施</li> </ul>		

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
2	学校生活相談体制充実事業費	18,893 千円	17,442 千円	要求 予算案	22,296 19,789 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	24時間相談電話	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>フリーダイヤルの24時間相談窓口を開設</li> <li>臨床心理士1名を配置、夜間休日は民間に委託</li> </ul>		
2	LINE相談「ひとりで悩まないで@長野」	委託	年間を通じ毎週1日LINE相談窓口を開設		

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
3	性被害防止に向けた指導充実事業費	2,404 千円	1,624 千円	要求 予算案	1,621 1,621 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	子どもの性被害防止教育キャラバン隊の学校派遣	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを介した性被害を防止するため専門家を学校に派遣</li> <li>教職員向けの性被害防止のための指導方法等研修会 4回</li> </ul>		